

研究タイトル:

ナレーションの技術向上支援システムの構築 —音声・動作・認知のマルチモーダルな分析—



氏名: 林 侑輝 / Yuki Hayashi

E-mail: y-hayashi@yonago-k.ac.jp

職名: 助教

学位: 修士(文学)

所属学会・協会: 日本認知科学会, 人工知能学会, みんなのケア情報学会

キーワード: 認知科学, 自然言語処理, 物語的思考(narrative), 思考の可視化, 一人称研究

技術相談

提供可能技術:

- ・発話・会話の転記とコーパス構築
- ・テキストマイニング等を用いた定量的な分析または定性的な分析
- ・言語行為のマルチモーダルな分析

研究内容:

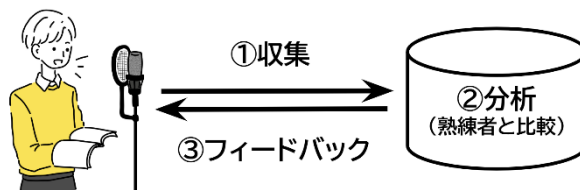
【基本的な研究関心】

広く「物語性のあるもの」に関心があります。人間には、単に物語作品を読み書きするという行為に留まらず、日常の体験(事実)を物語(ストーリー)にして理解したり他者に伝えたりする性質を備えています。最近では製品・サービスの開発や販売においても注目されていますが、この「物語的思考」と呼ばれる仕組みの解明が最終的な研究目標です。

具体的には、ことばに関わる人間の活動を収集(録画・録音等)して複合的に(マルチモーダルに)分析し、モデル化・可視化を行います。更に、それらの知見をフィードバックし、ユーザ(学習者等)の認知・行動の変容を目指します。

【現在の研究テーマ】

声の表現に関わるプロ(アナウンサー・声優・講談師等)を対象に、原稿を読む際の音声(声や呼吸)、動作(四肢や視線の動き)、認知(頭の中に描いているイメージ)を複合的に分析した上で、初心者の方の技術向上を支援するシステムの構築に取り組んでいます。並行して、現場経験のある方に日頃訓練する際や初心者の方を指導する際の実際の困り事についてヒアリングも進めています。



【その他のテーマ】

思考の言語化支援システムの構築, 診察場面における患者—医師コミュニケーションの分析, 講釈技術の要因の分析, 「旅」という行為の過程の可視化 他

担当科目

情報リテラシ(1年), デジタル回路Ⅰ(2年), 情報システム実験実習Ⅱ(4年), 人工知能(5年), 卒業研究(5年), 生産システム工学特別実験Ⅰ(専攻科1年) 他

近年の業績

(研究・教育論文、特許含む)

以下は、直近の研究発表です:

[1] 林 侑輝: 居場所の認知的な性質—〈時間〉と〈構造〉に着目した検討—, みんなのケア情報学会第7回年次大会, (2024)

[2] 林 侑輝: 少女漫画のセリフを声で表現することについて, 第2回キャラクターのことば研究会, (2025) 他

以下は、指導学生の卒業研究と関連した業績です:

[3] 川島 和流, 林 侑輝: 第一印象の改善を目的とした、会話練習システムの提案, 日本認知科学会第41回大会, (2024)

[4] 和田 丈太郎, 林 侑輝: 運転時のストレス軽減を目的とした、「ボケてくる対話型AI」の提案, 日本認知科学会第41回大会, (2024)

提供可能な設備・機器:

名称・型番(メーカー)

アイトラッカー:

アイマークレコーダ EMR(ナックイメーজテクノロジー)

モーションキャプチャシステム:

MAC3D System(ナックイメージテクノロジー)

他